

2 0 1 9 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 認定特定非営利活動法人 A I D S ネットワーク横浜

1 事業の成果

一般社会に対する教育、啓発活動

ア 第27期ボランティア学校開催、A I D S文化フォーラム in 横浜参加事業

エイズの知識をひろめ、一般市民への啓発を促進し、教員、福祉関係者、電話相談員の研修やボランティア活動の人材養成を目的に毎年実施。専門的な多岐にわたる分野を5日間、10講座で展開。うち2講座をA I D S文化フォーラム in 横浜で開催。今期も横浜サンセット21L.C.からの寄付を宛てて参加費を無料とした。

延べ188名の参加があった。A N Y会員、電話相談員には研修の機会として有効であり、会員外受講者も多く、新たな知見に触れることができ、研修、啓発の効果は大きかった。A I D S文化フォーラムでも好評であった。

イ 世界A I D Sデー in Yokohama 参加事業

11月30日(土) 横浜駅東口新都市プラザで開催。会場では、子ども向けのパズルを実施し、興味の喚起、集客を行った。また、通行する方に声をかけ、レッドリボンづくりをしてもらったり、展示スペースへの誘いをしたり、関心を引き起こす活動を行った。参加された方にはパンフレットを配布し、H I V・A I D Sの話をした。107家族の参加があり、H I V、A I D Sへの関心を高められた。

ウ 出前講座講師派遣事業

若者、社会人を対象とした啓発活動として行っており、行政1、高等学校4、中学校4の9件の依頼があったが、中学校2校は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となり、開催は7回であった。

中学生から社会人まで、約1,400人の方に啓発ができた。行政は保健師の方を対象として相談業務の実際やH I Vの現状の話し、中学、高校では性の多様性から、S T I全般、避妊の話しなど、広く性教育的な内容を含めた。講演後のアンケートでは好評であり、講演後のアンケートでの質問に対して、すぐに文書で回答をしていることも信頼につながっている。

電話相談事業

毎週水曜日夜間と土曜日の午後で開催しており、横浜市より一部委託を受けている。相談件数は700件を超えるが、昨年度より若干減少した。相談内容の諸構成比にあまり変化はないが、同性愛の方からの相談数が増加。年齢層は30代未満が多く、20代が最も多い。本会の特徴で、女性からの相談が多く14%。神奈川県民13%。

マスコミでの情報減から正しい知識が浸透していないだけでなく、S N Sの正誤とりまぜた情報に惑わされている状況が見られる。電話相談での匿名対話形式は、徒な不安感を解消し、ストレスを緩和するには最適な手段である。

ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動

ア ニュースレターの発行

213~217号の5回発行した。本法人の活動の報告、各種の研修会や講座の報告、書評、講座の情報などを掲載した。本法人のホームページにニュースレターをアップし、更新していることで、一般に向けてのH I V / A I D Sについての啓発、研修の機会となっている。

イ ホームページ公開、更新事業

ホームページ閲覧者を視野にH I V / A I D Sの理解と予防啓発、共生社会に向けての活動を行った。ホームページについては広く閲覧されているようで、問い合わせ、資料請求などがある。

この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）

ア 財務部

賛助会費を含む寄付金の獲得と受付に努めた。今年度はある団体から創立周年記念の特別寄付金を戴き、寄付金額が増加した。イベント開催やパンフレットの更新・作成のための「行事積立金」に 300,000 円を積み立てることができた。

イ 事務局

特定非営利活動に係る事業に必要な諸手続き、調整、連絡などを日常的に行い、活動の立案、情報交換、調整を検討する運営委員会を、8月を除く毎月開催した。本法人の円滑な運営に貢献した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

一般社会に対する教育、啓発活動に関する事業

ア ボランティア学校開催事業、A I D S文化フォーラム in 横浜参加事業

- ・内 容 H I V、A I D Sに関わる様々な分野の10講座を、講師9名から5日間で実施
- ・日 時 6/22、7/6、7/20、8/3、8/24 10:30~15:30
(8/3の文化フォーラムは10:00~15:00)
- ・場 所 横浜A I D S市民活動センター
(8/3の文化フォーラムは神奈川県民センター)
- ・従事者人員 延べ35人
- ・受益対象者 一般社会人、本法人電話相談員・会員 延べ188人
- ・支 出 額 289,297円

イ 世界A I D Sデー in Yokohama 参加事業

- ・内 容 レッドリボン製作、子供向けパズル遊び、パンフレット配布。パズル65家族、リボン製作42家族を集客した。他にも、音響効果、クイズやビデオ上映、バルーンアート作成、マスコットキャラクター活動に協力。
- ・日 時 11月30日(土) 9:00~16:00
- ・場 所 横浜駅東口新都市プラザ
- ・従事者人員 延べ18人
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・支 出 額 55,944円

ウ 出前講座事業

- ・内 容 学生、成人に対する啓発講演活動。学校を中心に9回の要請があったが、新型コロナウイルスの影響で7回の実施となった。今年度は、講師のための宿泊研修に1名を派遣した。
- ・日 時 通年。要請により実施。
- ・場 所 要請者が指定する場所。多くは体育館、教室。
- ・従事者人員 延べ23人(打ち合わせ含む)
- ・受益対象者 中・高生徒、社会人 約1,400人
- ・支 出 額 93,012円

エ 行事積立金事業

- ・内 容 イベント開催、パンフレット更新のための資金を積み立てる。
- ・受益対象者 一般市民多数を想定している。
- ・支 出 額 300,000円

電話相談事業

- ・内 容 一般市民からのH I V、A I D Sにかかわる電話相談。
本会の電話相談カードを作成し、市内健康福祉センターなど 20
箇所に設置した。
- ・日 時 毎週、水（18:00～21:00）、土（15:00～18:00） 計 97 回
- ・場 所 横浜A I D S市民活動センター
- ・従事者人員 延べ 233 人（事務作業、研修活動を含む）
- ・受益対象者 一般市民 717 人
- ・支 出 額 309,292 円

ニュースレターの発行、他団体との交流及び広報活動に関する事業

ア ニュースレター発行事業

- ・内 容 会員・関係者に対して、本法人の活動、様々な情報を発信。
- ・日 時 年間 5 回発行
- ・場 所 横浜A I D S市民活動センター
- ・従事者人員 延べ 18 人
- ・受益対象者 会員および関係団体。次のイにより一般市民多数。

イ ホームページ公開、更新事業

- ・内 容 不特定多数の方を対象として、ホームページを随時更新し、ニュー
スレターや、様々な情報を公開。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜A I D S市民活動センター
- ・従事者人員 延べ 9 人
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・ア、イの支出額計 112,512 円

この法人の目的を達成するために必要な活動（管理部門）

- ・内 容 会計・書類作成・提出などの事務的業務。運営委員会による、企
画・調整業務。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜A I D S市民活動センター内法人事務所
- ・従事者人員 延べ 113 名
- ・受益対象者 一般市民多数
- ・支 出 額 233,035 円